記入日　：　　2026年　　9月　　25日

活　動　内　容　報　告　書

団　体　名		沖縄盲学校スポーツ部（フロアバレーボール）
活動報告　直近3か月	2026年　　6月　3～5日	令和８年度九州地区盲学校体育大会（長崎） 第３４回フロアバレーボール大会　　第16回サウンドテーブルテニス大会
	2026年　　8月 19～20日	令和８年度第１０回全国盲学校フロアバレーボール美ら風沖縄大会
	年　　月	

活動風景の写真などを添付してください

大会名：令和８年度九州地区盲学校体育大会（長崎）
第３４回フロアバレーボール大会　　第16回サウンドテーブルテニス大会
期日：令和８年6月３日(水)～6月５日(金)　移動日３日（水）　計３日間
場所：長崎県立盲学校及び長崎県立時和特別支援学校体育館
参加者：生徒９名・引率職員６

大会名：第１０回全国盲学校フロアバレーボール美ら風沖縄大会
期日：令和８年８月18日(火)～8月20日(木)　　計３日間
場所：那覇市民体育館
参加者：生徒１２名・引率職員４

（写真:第10回全国盲学校フロアバレーボール美ら風沖縄大会　浜松戦）

（写真:九州大会準優勝、集合写真）

コメント

６月３日(水)から５日(金)まで、長崎県立盲学校及び長崎県立時和特別支援学校体育館で第３４回九州地区盲学校フロアバレーボール大会が行われ,生徒９名及び引率職員６名が参加した。
出発当日は、各自宅から那覇空港へ向かい、飛行機に搭乗。福岡空港着後は空港内で昼食を済ませ、バス移動で長崎駅まで移動し、午後１９時頃ホテルへ到着。その後はホテルで夕食をとり、各部屋ごとにホテル周辺を散策して１日目が終了した。
２日目は、公式練習後、開会式に参加。開会式終了後、本校は第１シードのためAコート第２試合より参加。「福岡視覚高等支援学校」と対戦した。結果は２－１で接戦を制し初勝利。目標としていた1勝をついに達成するとともに、決勝戦へ進んだ。生徒たちは朝から緊張した様子で、試合会場に向かう道中も不安の声を漏らす場面もあったが、試合では選手全員が最後まで集中し、ベンチも含めみんなが声を出し、諦めずに挑戦することができた。沖縄盲学校の勝利は長らく記録されておらず、選手たちは歴史的勝利に歓喜し、互いを讃えあい、確かな手ごたえに自身の成長を感じている様子であった。
九州大会では、大会期間中の弁当代（２日分）や、移動費で県外派遣費を使用。

8月18日(火)から20日(木)まで、那覇市民体育館にて第１０回全国盲学校フロアバレーボール美ら風沖縄大会が行われ,生徒１２名及び引率職員４名が参加した。
沖縄盲学校チームは大会２日目から参加し、開会式では開催県チームとして、専攻科１年の屋宜水李さんが選手宣誓を務めた。開会式終了後、公式練習を挟み本校はAコート第１試合「静岡県立浜松視覚特別支援学校」と対戦した。試合中の生徒たちは緊張した様子で、本来のプレーを引き出すことができないまま相手の攻撃に翻弄され、結果は０－２で敗戦。全国出場チームの壁を感じる試合となった。１回戦で負けてしまったが、残りの大会期間中に「鹿児島県立鹿児島盲学校」「千葉県立千葉視覚特別支援学校」との交流戦にも挑み、試合をこなすにつれ少しずつ良いプレーが見られた。２試合ともに負けてはしまったが、全国のチームに諦めずに挑戦することができた。選手たちは全国代表チームのプレーに魅了され、そのレベルの高さを間近で感じることができ、次なる成長を目指している様子であった。閉会式表彰では、高等部３年の松田健也さん（前衛）がベスト６に選出された。
全国大会では、大会期間中の弁当代（２日分）で県外派遣費を使用。

記入日　：　　2026年　　9月　１５日

活　動　内　容　報　告　書

団　体　名		視覚障がいの子ども達を育む親の会（沖縄盲学校PTA）
活動報告　直近３か月	2026年　　7月　9~12日	第39回九州地区盲学校弁論大会
	年　　月　　日	
	年　　月　　日	

活動風景の写真などを添付してください

コメント

大会名：第39回九州地区盲学校弁論大会
期日：令和8年7月9日（木）～12日（日）
場所：宮崎県宮崎市民プラザ
参加者：生徒２名・引率職員２名
内容：2年に1度行われる九州地区盲学校弁論大会です。各校代表の弁士が自分の思いや考えを、自分の言葉で語り合いました。お互いの思いや自分と異なる見方、考え方に触れ、疑問を抱いたり、考えを深めたり、共感し合って成長する機会ともなりました。弁論大会前後には交流会も行われ、親睦を深めることもできました。台風の影響があり、１日延泊することになりました。